

『プレゼンテーション研修』：感想（抜粋）

・私も講演会や学会などでプレゼンテーションを行う機会は少なからずあるがその場合はプレゼンの内容（研究内容など）に注目されるので話し方や声の大きさ目線、話の順序など自分のプレゼン能力を評価してもらう機会はあまりない。比較的簡単なテーマではあったが、自分の能力を他人に評価してもらう良い機会であった。いかに論理的にわかりやすく伝えるかというテクニックも学ぶことができた。恐らく当初の目的とは違うのかもしれないが短い時間でポスターを作りまとめて発表を行う事は余計な部分がシェイプされてわかりやすい発表になるという発見があったのも良かった。

・プレゼン資料の作り方、というより発表の仕方に重きを置いた内容だった。普段から人前で発表には極度に緊張してしまう性格だったので、そのコツなどが知れて良かったと思う。プレゼン資料を作る際の魅せ方などが聞けたら良かったと思う。

・グループワーク自体は普段接することのない方々とコミュニケーションを取ることもできて、大変楽しかったです。ただ、2回あったプレゼンどちらもゴールがわかりづらく、何をさせようとしているのか明確には伝わって来なかったのも、グループ内で手探り状態だったような気がします。各自のプレゼン後のコメントの時間も質問タイムになりがちだったので、これも講師の指示が不明瞭だったためかと思います。プレゼンの準備時間も大変短かったです。座学の時にテキストに書き込む事項が多く、書くことが目的になってしまい話が頭に入って来にくいとも思いました。参加者の業務が多種多様なので仕方なかったのかもしれませんが、短い研修時間の中で複数対象のプレゼンも個人対象の面談も盛り込んでいて、結局全体としてぼやけたテーマになっていた感は否めません。講師の方は感じが良かったです。

・もうすこし長い時間をかけて行えたらよかったと思います。全体に常に駆け足で、落ち着きのない進行になってしい、目的に収斂できなかった感じを受けてしまったのが残念です。

・プレゼンテーション能力の向上は、研究集会などでも必要だと実感していたスキルの一つであったので今回このような研修を設けていただきありがたかった。内容も実践的で、今後の役に立つ場面が多々あった。特に発声の仕方や要点を絞ったプレゼンの仕方等生かしていきたい。欲を言えば、時間がもう少しあればよかったかと思う。

・実際にやってみて自分のくせや欠点が把握できるたので、プレゼンの演習はよかった。

・私自身プレゼンテーション能力に自信がないのに加えて現在の職場ではあまりその機会が少ないこともあり、自らのプレゼンテーション能力を知るよい機会になった。話し方の癖や特徴など指摘してもらえる機会はそれほど多くないのでよい研修を受けられたと感じました。

・とても勉強になった。発表に行く機会が多かったので、それなりにわかっていたつもりであったが、自分の問題点が浮き彫りになったことで改善点がよくわかった。今後もこのような研修は参加したい。

・聴き手のニーズを捉え、理解を促すためにはどうすべきか考えさせられる契機となった。学生実習などで、聴き手に短時間で実習内容の理解を促すポイントをつかむことができた。また、声のトーン、目線、キーワードの繰り返し、間のとり方、シンプルな表現の心掛けなど、改めて意識しようと思うようになった。実際に、自分のプレゼン进行评估してもらい、自分も評価することで、自分のプレゼンスキルについても客観的に捉えることができた。

・プレゼンテーションというと「スライド作り」という意識しかなく、その時点でプレゼンテーション研修を受けてよかったと思いました。話し方のリズムや目線の配り方、はっきりとした発音など今まで全然意識していなかったのもそういったことを教えて頂けて大変良かったです。模擬プレゼンテーションは私には少し難しく十分に考えられなかったのもう少し講義中に準備時間を取っていただくか、模擬プレゼンテーションの数を減らして一つにたくさん時間をかけて頂けたらと思いました。

・人前で発表することが苦手な私にはとても勉強になりました。やはり社会人には必要なスキルだと思いますので、何回かに分けてでも技術職員全員受講したほうがよいのではないかと思います。



プレゼンテーション研修